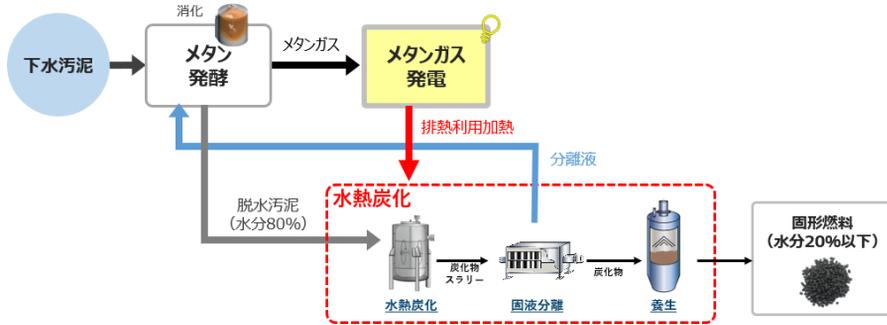


# 水熱炭化技術

## 下水処理におけるカーボンニュートラルの実現に向けた技術

従来、下水汚泥を炭化方式で固形燃料化する際には、水分を除去する乾燥の工程と、有機物を蒸し焼きする炭化の工程が必要で、多くのエネルギーを必要としていました。それに対し、水熱炭化技術は汚泥を低温かつ湿式（液中で反応を進める方式）状態で炭化することで、固形燃料化に要するエネルギーを大幅に削減することが可能になります。そのため、本技術に必要な熱源は発電機等の排熱のみで賄えることが最大の特長となっています。



- ・日本下水道事業団との共同研究として、富士市西部浄化センター（静岡県富士市）で実証実験中

## 特長

- 発電機等の排熱のみで処理が可能
- 従来の炭化技術に比べて経済性が高い
- 利用先に応じた固形燃料を製造可能
- メタン発酵との組み合わせにより下水処理のカーボンニュートラルも期待できる

## 水熱炭化のメカニズム

